

平成30年 新年賀詞交換会

1月18日、中央生涯学習センターで新年賀詞交換会が開催され、300人の市民が牛久市のさらなる飛躍、発展を祈りました。ここでは、主催者代表の根本洋治市長のあいさつを紹介します。

市長あいさつ(要旨)

明けましておめでとうございます。本年も、よろしくお願い申し上げます。また、このように多くの皆さまにお越しいただきまして、感謝申し上げます。

◆選ばれるまちづくりを

お陰さまで、牛久市の人口は、平成29年末現在8万5255人で、減少傾向に移ることなく、平成30年を迎えました。

私は、人口だけがまちの活力や住民の幸せを図る物差しではないと思っておりますが、やはり、多くの人が集まるまちというものは、周囲から、良い評価を頂いているのかとも思います。

昨年、日経BP総研が行った住まいよいまちランキングでは、牛久市は全国約790市の中で59位でした。住んでみたいまちとして牛久市の

名を挙げてもらえれば、うれしいものでございます。そういうことを考えるたびに、私は、牛久市が、東京を始めとする大都市への人口集中という流れに埋没することなく、少子化、超高齢社会で求められるサービスをしっかりと整えて、地方創生を推し進め、「住みやすさ」、「産み育てやすさ」にこだわり、「選ばれるまち」であり続けなければならぬと思うわけであります。

今、牛久市では、平成30年度の予算編成が大詰めを迎えておりますが、平成30年度の予算についても、平成29年度に私が打ち立てた5つの柱である「生涯活躍」、「安心した出産・子育て」、「地域経済活性化」、「観光資源の活用」、「転入超過を呼ぶまち」という、5つの分野の取り組みをさらに加速し、「選ばれるまち」、「笑顔のまちうしく」を推進したいと思っております。

牛久市は、昭和50年ごろから急激に発展し、2万7千人程だった人口が、10年後の昭和60年には5万1千人を超える勢いでありました。この時期には多くの公共施設や、インフラ整備が進められました。これから、これらの施設に手をいれて、なるべく長期間、気持ちよく使えるように、公共施設の改修を行うていく必要があります。当然経費は膨大ですが、きちんとした計画をつくり、財政的にも中長期的視点から、無理のないように進めて参ります。

◆公共施設の計画的改修

さて、「いきいき茨城ゆめ国体」の開会が来年9月に迫っております。運動公園に建築する武道場の工事は、整地が終わり、議会の皆様の承認をいただき、間もなく建

◆牛久を盛り上げる取り組み

築工事が始まります。牛久市で行われる軟式野球と空手競技を皆さんと一緒に応援し、楽しみ、盛り上げたいと思っております。また、牛久市では甲州市との連携により、牛久シャトーの日本遺産認定を目指しております。4月には牛久シャトーが日本遺産に選ばれ、皆さまと大きな歓喜のもとで迎えたい気持ちでございます。そして、私が市長就任以来取り組んでまいりました、ひたち野うしく中学校建設は、順調に進んでおり、予定通り再来年4月に開校いたします。これにより、この地域の魅力がますます高まると確信しております。

最後になりますが、どんな事業も皆さまのご協力なしでは、進めることができません。牛久市を活力のある笑顔のまちとして、そして、守り育てていくために、皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

